

日本渡航医学会会員の皆様方へ

日頃から、日本渡航医学会の活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

2015年5月18日（月）に4価髄膜炎菌ワクチン（ジフテリアトキソイド結合体）、商品名「メナクトラ®筋注」が国内で発売され、本ワクチンは海外渡航者に接種されることが想定されます。

本ワクチンの審査報告書にも記載されていますが、承認審査の過程で当局（独立行政法人医薬品医療機器総合機構，PMDA）より、海外渡航者も含めて安全性情報を積極的に収集できるように、適正使用資材の配布、副反応報告窓口の設置が指示されています。また、副反応報告を効率的に促進するため、関連学会への理解と協力についても要求されています。

これを受けて、製造販売会社であるサノフィ株式会社より日本渡航医学会に対して、被接種者への被接種者向け情報提供資材の配布、及び副反応報告の説明に関する協力依頼がありました。

これまでの経緯の概要、審査報告書（抜粋）、サノフィ株式会社作成の情報提供資材、副反応報告に関する依頼につきましては、添付の資料をご覧ください。副反応報告は、医療従事者あるいは医療従事者以外の者からウェブサイトを通じての報告も可能です。ウェブサイトは、2015年5月16日（土）から使用可能となる予定です。

トラベラーズワクチンとしても大切な位置付けにある新規ワクチンの安全性に関しまして広く情報を収集できますよう、会員の皆様方のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2015年5月14日

日本渡航医学会
担当理事 中野貴司